

横田基地における演習等の実施について

- 実施内容及び日程等：
 - ・ 内容：サムライ即応監査（S R I：Samurai Readiness Inspection）
 - ・ 日程：平成29年11月30日（木）～12月10日（日）
通常の運用時間帯（0600-2200）において実施する予定であるが、一部運用時間帯外に実施される予定。
- 実施に伴う航空機の運用：
 - ・ 演習に伴う航空機（C-130J）の運用が予定されている。
 - ・ 運用時間帯外の航空機の離着陸が予定されている。
- P A S、G B S及び煙幕等の使用：
 - ・ 通常の利用時間帯において、基地内全域でのP A S及び管理地区でのG B Sの使用の予定がある。
 - ・ 煙幕を使用する予定はない。
- 北関東防衛局における対応：
 - ・ 北関東防衛局から米軍に対し、演習等の実施に当たっては、日米合同委員会合意の遵守に努め、周辺住民に与える影響を最小限にとどめるよう申し入れた。
- その他：
 - ・ 本演習期間中、12月4日（月）から12月8日（金）の間に米韓両軍が合同で実施する飛行訓練「ビジラント・エース18」を支援する予定がある。
 - ・ 夜間に重機を用いた作業を行う予定がある。
 - ・ ゲートを閉鎖する予定はない。
 - ・ 演習終了の通報を行う予定である。
 - ・ 演習等の予定については、諸事情により変更される場合がある。

（参考）

- ・ S R I：Samurai Readiness Inspection（サムライ即応監査）
有事における即応態勢の維持強化及びORE※に対する監査。
 - ※ORE：Operational Readiness Exercise（運用即応演習）
仮想戦闘環境における基地の機能テストであり、テロ攻撃や航空機又は地上戦闘力等による基地への攻撃を想定し、実践的な即応態勢をとることを訓練するもの。
- ・ P A S（Public Address System）：パブリック・アドレス・システム
以前は、ジャイアントボイスと呼んでいたもので、大音響の出る特殊なスピーカを使用し、サイレンや広報を行なう。
- ・ G B S（Ground Burst Simulator）：グラウンド・バースト・シミュレーター
地上爆発模擬装置。金属製の容器内で爆発物を破裂させ、爆発音を発生させる。